

没後80年記念

佐伯祐三展

—パリに生き、パリに逝った画家の熱情—

Yuzo SAEKI

2009.4.24-6.14

佐伯祐三（1898－1928）がパリで没してから80年。

佐伯はしばしば「この絵は純粹か?」と自作について友人に問いかけ、常に芸術家としての自身を律していたといわれています。パリの街頭を重厚な色彩と激しい筆致で表現し、情熱のなかに郷愁をも感じさせる佐伯作品は、今なお人々を魅了しています。

佐伯は1898年、大阪府西成郡中津村(現・大阪市北区中津)の光徳寺に生まれ、1923年に東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業、翌1924年パリに旅立ちます。この年、自作を携え里見勝蔵とともにフォーヴィスムの巨匠ヴラマンクを訪ね「このアカデミック!」と怒声を浴びた体験が、大きく佐伯の表現を変化させ、さらにユトリロの影響を受けつつ独自の画風を確立していきます。

1926年、一時帰国して里見や前田寛治、小島善太郎、木下孝則と「一九三〇年協会」を結成するもパリへの想いは断ちがたく、翌年再びパリに渡ります。この滞在において、広告の文字や並木がパリの街頭風景に躍る佐伯ならではの表現が開花しますが、翌1928年、30年という短くも情熱を燃やし続けた生涯を終えます。

そうした佐伯の創造の軌跡を代表作によって辿り、また佐伯芸術の成立にかかわった関連作家らの作品や、佐伯の志を受け継ぐかのような後進の画家らの作品もあわせて紹介し、佐伯芸術の本質と広がりを探ります。

第1章 凝視する自己・自画像の時代—東京美術学校からパリに行くまで

北野中学校時代には赤松麟作に、東京美術学校では藤島武二の指導を受けました。画家としての基礎を築いていくこの時期、佐伯は心の奥底をのぞきこむかのように、多くの自画像を描いています。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
3	佐伯祐三	勝浦風景	1918-19年頃	油彩、カンヴァス	90.8×90.8	個人蔵
6	佐伯祐三	自画像	1919年頃	鉛筆、紙	29.4×19.5	個人蔵
7	佐伯祐三	戸山ヶ原風景	1920年	油彩、カンヴァス	50.0×60.5	大阪市立近代美術館建設準備室
8	佐伯祐三	小久保千代子像	1920年	油彩、カンヴァス	45.0×37.8	個人蔵
9	佐伯祐三	大谷セイ像	1920年頃	インク、紙	21.0×16.0	大阪市立近代美術館建設準備室
10	佐伯祐三	帆船	1920年頃	油彩、板	23.4×33.0	大阪市立近代美術館建設準備室
11	佐伯祐三	自画像	1920-23年頃	油彩、カンヴァス	45.5×33.4	三重県立美術館
12	佐伯祐三	帽子をかぶる自画像	1922年	油彩、カンヴァス	73.0×53.4	和歌山県立近代美術館
13	佐伯祐三	目白自宅附近	1922年頃	油彩、カンヴァス	37.0×52.0	大阪市立近代美術館建設準備室
14	佐伯祐三	自画像	1923年頃	油彩、カンヴァス	53.5×45.7	神奈川県立近代美術館
16	佐伯祐三	裸婦	1923年頃	油彩、カンヴァス	73.0×116.6	西宮市大谷記念美術館
17	佐伯祐三	自画像	1923年	油彩、カンヴァス	60.3×45.2	東京藝術大学
18	佐伯祐三	河内打上附近	1923年	油彩、板	24.5×33.7	大阪市立近代美術館建設準備室
19	佐伯祐三	河内燈油村附近	1923年	油彩、板	24.4×33.6	大阪市立近代美術館建設準備室
20	佐伯祐三	彌智子像	1923年	油彩、カンヴァス	45.0×45.2	大阪市立近代美術館建設準備室
21	佐伯祐三	パリ遠望	1924年	油彩、カンヴァス	55.3×72.7	大阪市立近代美術館建設準備室

第2章 ヴラマンクとの出会い—第1次パリ時代

1923年にフランスに渡った佐伯は、里見勝蔵に連れられてフォーヴィスムの巨匠ヴラマンクを訪見しますが、「アカデミック!」と一喝されて衝撃を受け、画風を変貌させます。荒々しい筆触の郊外風景を経て、ユトリロの影響を受けながら建物を真正面からとらえたパリ風景を確立します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
23	佐伯祐三	立てる自画像	1924年	油彩、カンヴァス	80.5×54.8	大阪市立近代美術館建設準備室
★24	佐伯祐三	教会	1924年	油彩、カンヴァス	59.5×72.0	大阪市立美術館

裏面 NO.54《夜のノートルダム(マントラ=ジョリ)》

裏面 NO.25《パリの裏町》

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
★25	佐伯祐三	パリの裏町	1924年頃	油彩、カンヴァス	59.5×72.0	大阪市立美術館 裏面 NO.24《教会》
26	佐伯祐三	オワーズ河周辺風景	1924年	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	和歌山県立近代美術館
28	佐伯祐三	オワーズ河周辺風景(ネル＝ラ＝ヴァレ)	1924年	油彩、カンヴァス	59.0×79.5	個人蔵 裏面 NO.52《ノートルダム(マント・ラ・ジョリ)》
29	佐伯祐三	風景	1924年頃	油彩、カンヴァス	50.5×60.5	大阪市立近代美術館建設準備室
33	佐伯祐三	裸婦	1924年	油彩、カンヴァス	60.8×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室 裏面 NO.44《壁》
35	佐伯祐三	オニー牧場	1925年	油彩、カンヴァス	60.0×80.3	下関市立美術館
36	佐伯祐三	村の教会堂	1925年	油彩、カンヴァス	45.5×61.0	大阪市立近代美術館建設準備室
★37	佐伯祐三	パリ雪景	1925年頃	油彩、カンヴァス	65.0×80.0	個人蔵 裏面 NO.39《ブランジュリー》
38	佐伯祐三	セーヌ河の見える風景	1924年	油彩、カンヴァス	36.5×45.4	東京藝術大学
★39	佐伯祐三	ブランジュリー	1925年	油彩、カンヴァス	80.0×65.4	個人蔵 裏面 NO.37《パリ雪景》
40	佐伯祐三	パリ15区街	1925年	油彩、カンヴァス	54.0×65.2	大阪市立近代美術館建設準備室
41	佐伯祐三	リュ・デュ・シャトー	1925年	油彩、カンヴァス	44.1×50.1	個人蔵
42	佐伯祐三	パリの街角	1925年	油彩、カンヴァス	64.5×41.0	和歌山県立近代美術館
43	佐伯祐三	パリ歩道スケッチ	1925年	油彩、カンヴァス	33.6×24.3	大阪市立近代美術館建設準備室
44	佐伯祐三	壁	1925年	油彩、カンヴァス	73.1×60.8	大阪市立近代美術館建設準備室 裏面 NO.33《裸婦》
45	佐伯祐三	リュ・ブランシオン	1925年	油彩、カンヴァス	59.8×73.0	個人蔵
46	佐伯祐三	パリの街角(家具付ホテル)	1925年頃	油彩、カンヴァス	65.1×81.1	個人蔵 裏面《風景》
48	佐伯祐三	洗濯屋(オ・プティ・ソミュール)	1925年	油彩、カンヴァス	73.0×60.4	大阪市立近代美術館建設準備室
49	佐伯祐三	酒場(オ・カーヴ・ブルー)	1925年	油彩、カンヴァス	72.2×60.1	大阪市立近代美術館建設準備室
51	佐伯祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925年	油彩、カンヴァス	71.7×59.4	大阪市立近代美術館建設準備室
52	佐伯祐三	ノートルダム(マント＝ラ＝ジョリ)	1925年	油彩、カンヴァス	79.5×59.0	個人蔵 裏面 NO.28《オワーズ河周辺風景(ネル＝ラ＝ヴァレ)》
53	佐伯祐三	ノートルダム(マント＝ラ＝ジョリ)	1925年	油彩、カンヴァス	78.7×52.5	大阪府立北野高等学校
54	佐伯祐三	夜のノートルダム(マント＝ラ＝ジョリ)	1925年	油彩、カンヴァス	80.5×54.5	大阪市立近代美術館建設準備室 裏面 NO.23《立てる自画像》
★55	佐伯祐三	ノートルダム(マント＝ラ＝ジョリ)		油彩、カンヴァス		個人蔵 裏面 里見勝蔵《ストープ》
56	佐伯祐三	運送屋(カミオン)	1925年	油彩、カンヴァス	60.2×72.1	大阪市立近代美術館建設準備室
57	佐伯祐三	ヴォージラルの家	1925年	油彩、カンヴァス	65.0×80.5	大阪市立近代美術館建設準備室
59	佐伯祐三	広告のある門	1925年	油彩、カンヴァス	60.0×73.3	和歌山県立近代美術館
60	佐伯祐三	ラコルデール街	1925年頃	油彩、カンヴァス	73.0×60.0	個人蔵
61	佐伯祐三	テレビン油のある静物	1925年頃	油彩、カンヴァス	54.0×65.0	大阪市立近代美術館建設準備室
62	佐伯祐三	ポスターとローソク立て	1925年頃	油彩、カンヴァス	46.0×54.0	和歌山県立近代美術館
63	佐伯祐三	人形	1925年頃	油彩、カンヴァス	41.2×32.2	大阪市立近代美術館建設準備室
64	佐伯祐三	絵具箱	1925-26年頃	油彩、カンヴァス	45.8×53.8	大阪市立近代美術館建設準備室
65	佐伯祐三	パストゥールのガード	1925-26年頃	油彩、カンヴァス	52.5×63.3	個人蔵
67	佐伯祐三	顔	1924年頃	インク、紙	28.0×18.0	個人蔵
68	佐伯祐三	オワーズ河周辺風景	1924年頃	水彩、紙	29.5×45.0	個人蔵
69	佐伯祐三	裸婦	1924年頃	インク、紙	17.5×24.5	個人蔵 裏面 NO.44《壁》
70	佐伯祐三	アルルのはね橋	1925年	水彩、紙	21.2×27.2	個人蔵
71	佐伯祐三	動くポーズ	1925年	鉛筆、紙	33.2×22.3	大阪市立近代美術館建設準備室
72	佐伯祐三	サン・フランチェスコ聖堂	1926年	水彩、紙	24.5×32.0	大阪市立近代美術館建設準備室

佐伯に影響を与えた画家たち

モーリス・ド・ヴラマンク	雪の風景	1911年	油彩、カンヴァス	54.0×65.0	大阪市立近代美術館建設準備室
モーリス・ド・ヴラマンク	雪の村	1930年頃	油彩、カンヴァス	65.5×81.0	大阪市立近代美術館建設準備室
モーリス・ユトリロ	グロスレイの教会	1909年頃	油彩、ボード	53.6×73.4	大阪市立近代美術館建設準備室
里見勝蔵	マリーヌの記念	1924年	油彩、カンヴァス	73.5×92.0	鳥取県立博物館
里見勝蔵	平原の村(エルヴィル)	1924年	油彩、カンヴァス	33.6×46.3	大阪市立近代美術館建設準備室
里見勝蔵	雪景	1924年頃	油彩、カンヴァス	33.3×44.5	大阪市立近代美術館建設準備室
中山巍	時計と男	1925年	油彩、カンヴァス	90.9×72.7	岡山県立美術館
川口軌外	ボヘミアン	1928年	油彩、カンヴァス	116.5×80.3	和歌山県立近代美術館

第3章 帰国時代

1926年に一時帰国し、滞欧仲間の里見勝蔵、前田寛治、小島善太郎、木下孝則らと新しい美術団体「一九三〇年協会」を結成。近郊の風景などを描きますが、日本の風景と対峙すればするほど、パリへの思いを募らせていきます。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
75	佐伯祐三	下落合風景	1926年頃	油彩、カンヴァス	80.5×65.0	個人蔵
76	佐伯祐三	下落合風景	1926年頃	油彩、カンヴァス	60.4×72.8	大阪市立近代美術館建設準備室
77	佐伯祐三	テニス(下落合風景)	1926年頃	油彩、カンヴァス	73.0×117.5	新宿区(落合第一小学校)
79	佐伯祐三	下落合風景	1926年	油彩、カンヴァス	60.9×73.0	学校法人甲南学園甲南小学校
81	佐伯祐三	下落合風景	1926年頃	油彩、カンヴァス	50.5×61.0	個人蔵
83	佐伯祐三	汽船	1926年頃	油彩、カンヴァス	38.0×45.5	大阪市立近代美術館建設準備室
84	佐伯祐三	滞船	1926年	油彩、カンヴァス	61.0×72.5	神奈川県立近代美術館
85	佐伯祐三	滞船	1926年頃	油彩、カンヴァス	53.0×65.0	横浜美術館
86	佐伯祐三	蟹	1926年頃	油彩、カンヴァス	31.8×41.0	個人蔵
88	佐伯祐三	米子像	1927年	油彩、カンヴァス	53.4×45.4	三重県立美術館
89	佐伯祐三	朝鮮風景	1927年頃	インク、紙	28.0×36.4	個人蔵

一九三〇年協会の画家たち

里見勝蔵	ストープ	1924-25年頃	油彩、カンヴァス	63.7×52.3	個人蔵	裏面 NO.55《ノートル・ダム》
前田寛治	プルターニュの女	1925年	油彩、カンヴァス	166.0×101.0	個人蔵	
小島善太郎	静物(くだもの)	1922年	油彩、カンヴァス	72.8×60.6	青梅市立美術館	
木下孝則	後向きの裸女習作	1925年	油彩、カンヴァス	100.2×80.0	和歌山県立近代美術館	

第4章 燃え上がる熱情、パリー第2次パリ時代

1927年、佐伯は念願の再渡仏を果たします。パリの街並みを鮮やかな色と激しい筆づかいで描き、広告の文字や並木の枝が踊る、佐伯芸術を開花させます。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
91	佐伯祐三	オブセルヴァトワール附近	1927年	油彩、カンヴァス	73.0×92.0	和歌山県立近代美術館
92	佐伯祐三	オブセルヴァトワール附近	1927年	油彩、カンヴァス	54.3×65.3	大阪市立近代美術館建設準備室
93	佐伯祐三	街	1927年	油彩、カンヴァス	65.2×80.3	福岡市美術館
94	佐伯祐三	パリ街景	1927年	油彩、カンヴァス	65.6×81.0	大原美術館
95	佐伯祐三	カフェ・タバ	1927年	油彩、カンヴァス	54.5×65.1	個人蔵
96	佐伯祐三	ピコン	1927年	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	個人蔵
97	佐伯祐三	街角の広告	1927年	油彩、カンヴァス	80.3×65.2	大阪市立近代美術館建設準備室
98	佐伯祐三	広告(アン・ジュノ)	1927年	油彩、カンヴァス	65.2×81.1	大阪市立近代美術館建設準備室
101	佐伯祐三	バーの入り口	1927年	油彩、カンヴァス	60.0×49.0	国立国際美術館
105	佐伯祐三	レストラン(オテル・デュ・マルシェ)	1927年	油彩、カンヴァス	54.5×65.4	大阪市立近代美術館建設準備室
106	佐伯祐三	広告塔	1927年	油彩、カンヴァス	79.5×52.8	新潟県立近代美術館・万代島美術館
107	佐伯祐三	新聞屋	1927年	油彩、カンヴァス	73.6×60.2	朝日新聞社
108	佐伯祐三	門の広告	1927年	油彩、カンヴァス	58.8×81.3	個人蔵
110	佐伯祐三	裏町の広告	1927年	油彩、カンヴァス	60.4×73.0	京都国立近代美術館
111	佐伯祐三	場末の街	1927年	油彩、カンヴァス	60.3×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
112	佐伯祐三	寺院	1927年	油彩、カンヴァス	60.3×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
113	佐伯祐三	靴屋	1927年	油彩、カンヴァス	60.6×73.2	大阪市立近代美術館建設準備室
114	佐伯祐三	裸婦	1928年	鉛筆、紙	26.2×18.6	個人蔵

第5章 画家・佐伯祐三、最後の3ヶ月。モラン、そして死

1928年、新展開を求めて、佐伯はパリ近郊の村モランに荻須高德、山口長男、横手貞美、大橋了介らと写生旅行に出かけます。その後パリに戻りますが、体調を崩し、同年8月16日、30年の短い生涯を閉じました。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
116	佐伯祐三	共同便所	1928年	油彩、カンヴァス	72.4×59.8	大阪市立近代美術館建設準備室
117	佐伯祐三	パンテオン寺院	1928年	油彩、カンヴァス	65.0×53.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
119	佐伯祐三	工場	1928年	油彩、カンヴァス	73.4×60.3	田辺市立美術館
120	佐伯祐三	工場	1928年	油彩、カンヴァス	60.0×91.0	大阪市立近代美術館建設準備室
121	佐伯祐三	モランの寺	1928年	油彩、カンヴァス	59.8×72.0	大阪市立近代美術館建設準備室
122	佐伯祐三	モランの寺	1928年	油彩、カンヴァス	60.3×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
123	佐伯祐三	モランの寺	1928年	油彩、カルトン	37.2×44.5	大阪市立近代美術館建設準備室
124	佐伯祐三	モランの寺	1928年	油彩、カンヴァス	50.2×61.3	大阪市立近代美術館建設準備室
125	佐伯祐三	街はずれの寺	1928年	油彩、カンヴァス	60.3×72.1	大阪市立近代美術館建設準備室
126	佐伯祐三	納屋	1928年	油彩、カンヴァス	60.2×73.2	大阪市立近代美術館建設準備室
127	佐伯祐三	村の風景	1928年	油彩、カンヴァス	50.4×61.3	大阪市立近代美術館建設準備室
128	佐伯祐三	村と丘	1928年	油彩、カンヴァス	58.1×71.7	大阪市立近代美術館建設準備室
129	佐伯祐三	村と丘	1928年	油彩、カンヴァス	60.8×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
130	佐伯祐三	モラン風景	1928年	油彩、カンヴァス	59.6×91.8	大阪市立近代美術館建設準備室
131	佐伯祐三	カフェ・レストラン	1928年	油彩、カンヴァス	59.9×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
132	佐伯祐三	煉瓦焼	1928年	油彩、カンヴァス	60.2×73.1	大阪市立近代美術館建設準備室
133	佐伯祐三	白い道	1928年	油彩、カンヴァス	72.0×59.0	個人蔵
136	佐伯祐三	郵便配達夫(半身)	1928年	油彩、カンヴァス	65.0×54.5	大阪市立近代美術館建設準備室
137	佐伯祐三	郵便配達夫	1928年	油彩、カンヴァス	80.8×65.0	大阪市立近代美術館建設準備室
138	佐伯祐三	ロシアの少女	1928年	油彩、カンヴァス	65.3×53.5	大阪市立近代美術館建設準備室
139	佐伯祐三	黄色いレストラン	1928年	油彩、カンヴァス	73.0×60.8	大阪市立近代美術館建設準備室

佐伯に影響を受けた画家たち

荻須高德	エドガール・キネ街	1928-30年頃	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
荻須高德	ムフタル街	1932年	油彩、カンヴァス	60.5×73.5	大阪市立近代美術館建設準備室
大橋了介	モランの教会	1928年	油彩、カンヴァス	60.2×73.2	大阪市立近代美術館建設準備室
大橋了介	巴里の道	1930年	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
山口長男	二人像	1930年	油彩、カンヴァス	73.0×60.0	東京国立近代美術館
横手貞美	ローズリー別荘 ヴェトイユ	1927-30年頃	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	大阪市立近代美術館建設準備室
佐野繁次郎	女	1932年	油彩、カンヴァス	116.7×90.9	大阪市立近代美術館建設準備室

関連資料

ライフマスク		1921年頃	大阪市立近代美術館建設準備室
遺品 更紗			大阪市立近代美術館建設準備室
佐伯祐三宛、佐伯祐三絵葉書	1923年12月1日付 上海消印	1923年	大阪市立近代美術館建設準備室
佐伯祐三宛、佐伯祐三絵葉書	1924年2月16日付 バリ14区消印	1924年	大阪市立近代美術館建設準備室
佐伯祐三宛、佐伯祐三絵葉書	1925年 年賀状 バリ消印	1925年	大阪市立近代美術館建設準備室
佐伯米子宛 佐伯祐三書簡	1927年7月21日付	1927年	大阪市立近代美術館建設準備室
中河興一『恐ろしき私』 佐伯祐三装丁	1927年 改造社	1927年	大阪市立近代美術館建設準備室
ポスター 一九三〇年協会第一回洋画展覧会		1926年	大阪市立近代美術館建設準備室
『一九三〇年叢書(一) 画集 佐伯祐三』一九三〇年協会編		1929年	大阪市立近代美術館建設準備室
ポスター 佐伯祐三回顧展 銀座三共ギャラリー		1935年	大阪市立近代美術館建設準備室
「銀座画廊ニュース 佐伯祐三回顧展号」		1935年	大阪市立近代美術館建設準備室
ポスター 山本發次郎氏所蔵 佐伯祐三遺作展覧会		1937年	大阪市立近代美術館建設準備室
『山本發次郎氏蒐蔵 佐伯祐三画集』 座右宝刊行会		1937年	大阪市立近代美術館建設準備室
『山本發次郎氏所蔵 佐伯祐三遺作展覧会目録』		1937年	大阪市立近代美術館建設準備室

北海道立近代美術館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目
TEL011-644-6882 FAX011-644-6885
ホームページ <http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi/>

- ★ 作品NO.は、展覧会カタログ作品NO.と一致します。
- ★ NO.1、2、4、5、15、22、27、30、31、32、34、47、50、58、66、73、74、78、80、82、87、90、99、100、102、103、104、109、115、118、134、135と、山口長男《頭》は、所蔵者の都合により本会場では出品されません。
- ★ NO.24《教会》は5月17日(日)まで展示し、裏面NO.25《バリの裏町》は5月19日(火)から会期終了まで展示いたします。
- ★ NO.37《バリ雪景》は5月17日(日)まで展示し、裏面NO.39《ランジュリー》は5月19日(火)から会期終了まで展示いたします。
- ★ NO.46《バリの街角(家具付ホテル)》の裏面《風景》は、作品額装状態の都合により、ご覧いただけません。
- ★ NO.55《ノートルダム(マント=ラ=ジョリ)》は里見勝蔵《スーヴ》の裏面であるため、ご覧いただけません。